Eat Well, Live Well.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた東証からの要請内容に対して、味の素グループは真摯に向き合った対応を実施しております。

	東証からの要請内容	味の素グループの対応状況
現状分析	自社の**資本コスト**や**資本収益性**を的確に把握	**WACCおよびROICをセグメント毎に管理**
	その内容や市場評価に関して **取締役会で現状を分析・評価**	取締役会で現状分析を実施し**2030ASV指標を作成**
計画策定・開示	**改善に向けた方針**や**目標・計画期間**、 **具体的な取組みを取締役会で検討・策定**	**EPS3倍を目標としたASV指標** および**成長戦略方針を策定**
	その内容について、現状評価とあわせて、 **投資者にわかりやすく開示**	**ロードマップ、決算説明資料、自社HP**等にて 目標値および取り組み方針を規定
取組みの実行	計画に基づき、 **資本コストや株価を意識した経営を推進**	**資本コストをROICが上回る経営方針**を推進
	開示をベースとして、 **投資者との積極的な対話を実施**	**決算説明会、IRカンファレンス**、自社HPを活用し 投資家との対話を推進

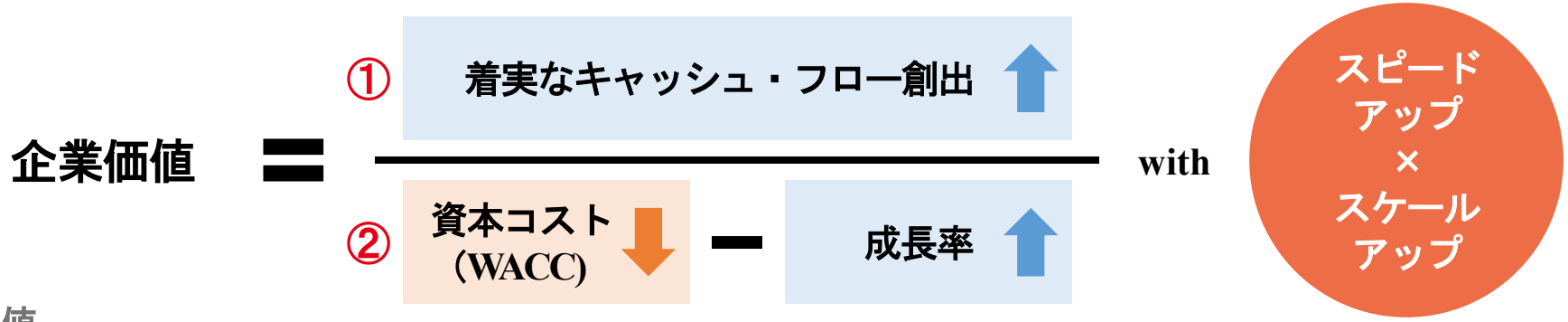
以上一連対応の**継続的な実施**と**毎年（年1回以上）の開示アップデート**

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2030ロードマップでは、企業価値向上のために、キャッシュ・フローの創出、資本コストの低減、成長率の向上を掲げています。
より具体的な企業価値向上達成のため、EBITDAマージンとWACCの数値目標をKPIとして設定します。

企業価値向上の計算式



目標数値

	指標	目標		
		FY25(実績)	FY26(予想)	FY30(予想)
①	EBITDAマージン	17.1%	約17%	19%
②	WACC＜ROIC	7.0%＜11.8%	7.0%＜約11%	7.0%＜約17%
	ROE	17.7%	約15%	約20%

FY30までに
EPS約3倍
(FY22対比)を
目指す

Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

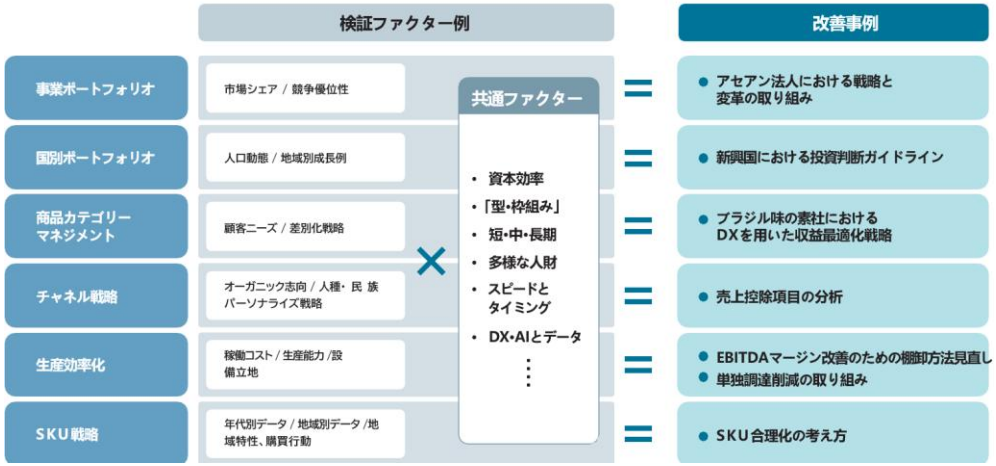
キャッシュ・フロー創出に向けて、本業の事業成長とEBITDAの改善施策に取り組んでいます。
重要な経済価値指標としてROICを位置づけ、同時に資本コスト改善を通じWACCの低減を行います。

①着実なキャッシュ・フロー創出

A：事業からのキャッシュ・フロー増加

	FY25(実績)	FY26(予想)	FY30(予想)
オーガニック成長率	3.7%	約9%	5.0%~ (FY26-30)
EBITDAマージン	17.1%	約17%	19%

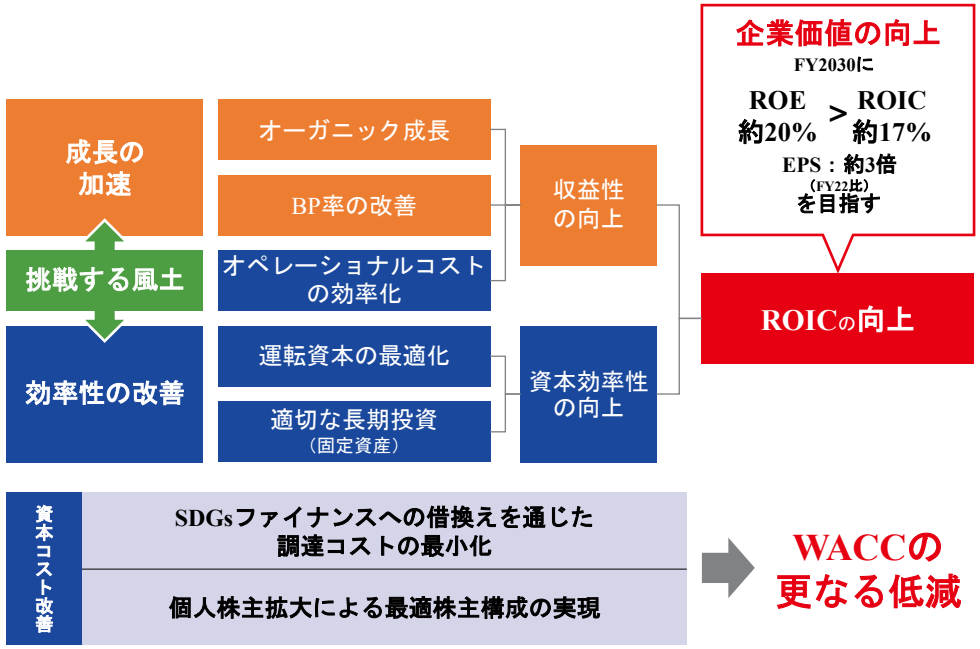
B：キャッシュ・フロー創出に向けた施策事例



②資本コスト（WACC）を上回るROIC向上

ASV指標の中で経済価値指標の重要項目にROICを位置づけ

	FY25(実績)	FY26(予想)	FY30(予想)
ROIC（>資本コスト）	11.8%	約11%	約17%

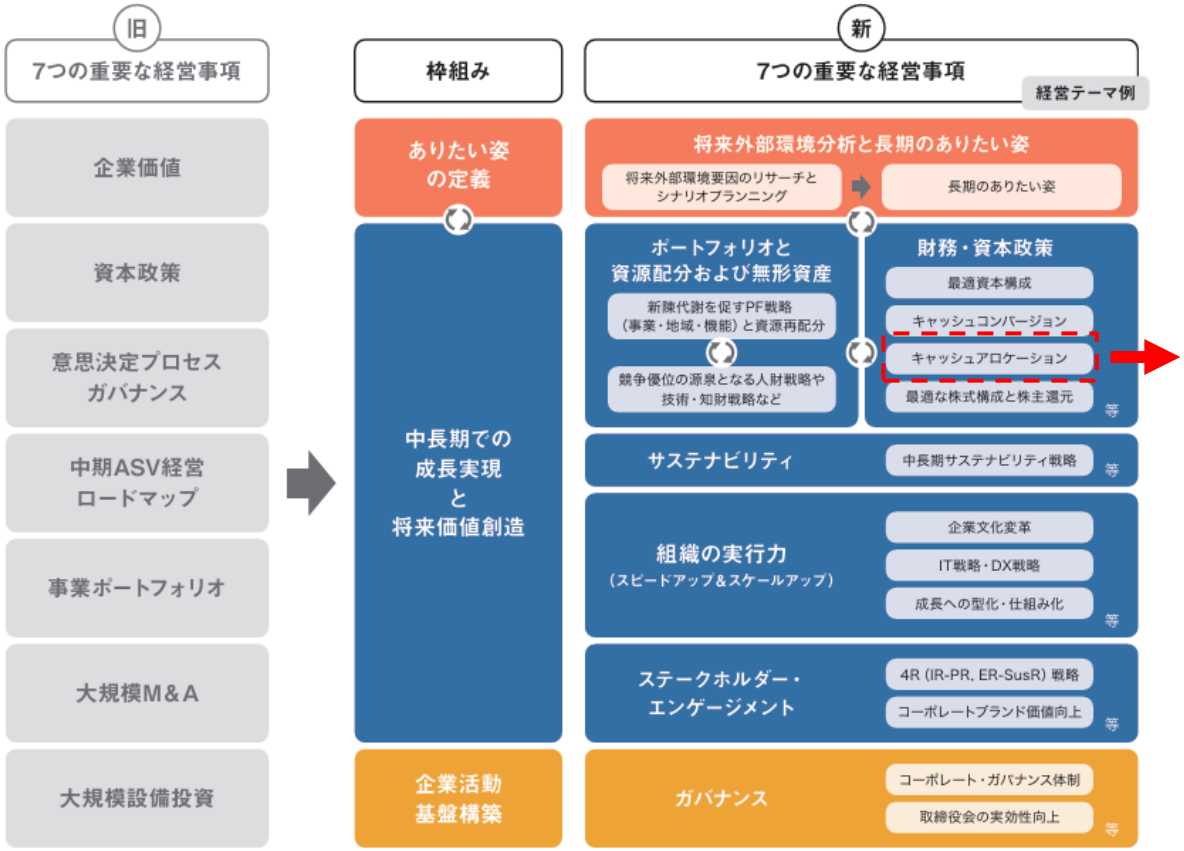


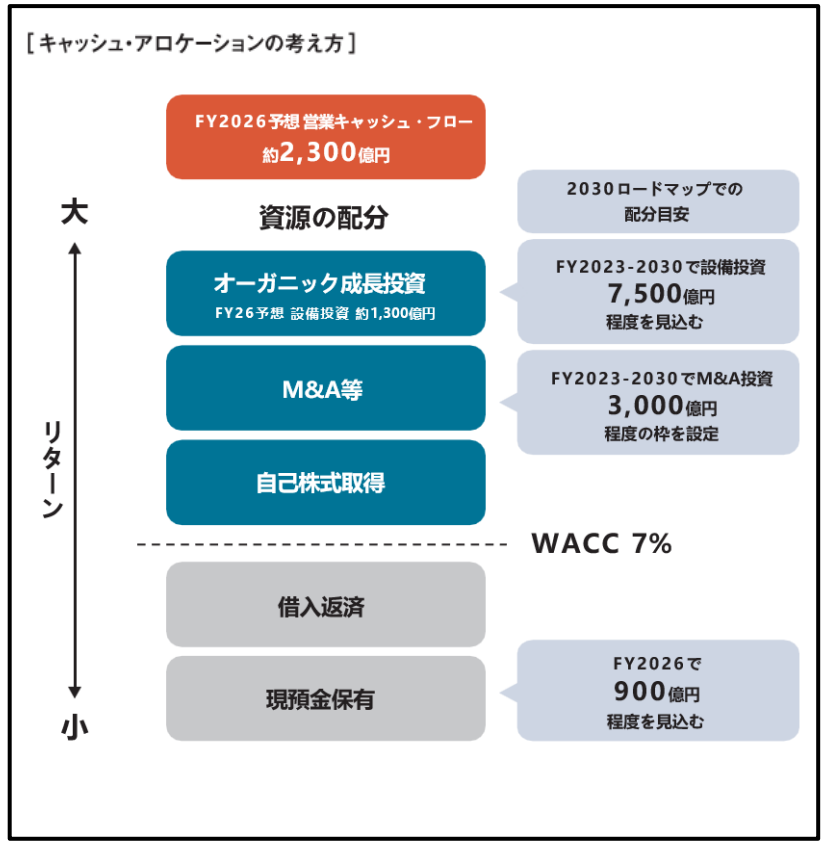
Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

中長期的な企業価値向上のために取締役会で議論すべき方向性を“7つの重要な経営事項”として設定しております。キャッシュ・アロケーションについても、この枠組みの中で議論を行っております。

［ 新・7つの重要な経営事項とその設定の枠組み ］





Copyright © 2026 Ajinomoto Co., Inc. All rights reserved